

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
施策名	(ア)	魅力ある学校環境の充実	
	②	郷土愛の育成	
	1	学校、地域が連携したふるさと教育の推進	
事業名	①	PR大使育成事業【新規】	
担当課名	学校教育課・観光商工課		所属長名 中村孔一・安永佳秀
関係課名			

1. 事業の目的						
○子ども達の愛郷心を育み、進学や就職等で島を離れた後、本町のPR活動を通して町の活性化に寄与してもらうことを目的とする。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○町内の学生を対象とし、愛郷心を育むことを目的とした「出前講座」や「体験学習」等を積極的に推進し、島を出る直前の子供たちに、故郷の素晴らしさを改めて体感させ、町内高校全ての卒業生に観光名所や特産品等が紹介された名刺を配布し、本町のPR活動に役立てて、この卒業生が成人式の際、成人祝として希望者に個人名入りの名刺を配布し「新上五島町観光物産大使」として任命しPR活動を行う事業。				○高校と協議をし、上五島高校は希望者のみ、中五島高校は全員に配布することとなった。 ○町内155名（上五島高校112名、中五島高校43名）の卒業生へ、名刺を配布することができた。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	152千円					152千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○町内の卒業生へ名刺を配布し、そのうち1名から名刺の追加依頼があり、島外へのPR活動につながっている。また、PR活動をすることにより、更に愛郷心を育むことにも繋がったと考えている。				○愛郷心を育むために、どのような施策が必要か、教育委員会と協議することができなかった。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○教育委員会や高校と事業の進め方について協議を行い、事業を有効なものにする。また、愛郷心を育むことを目的とした「出前講座」や「体験学習」等を積極的に推進する。						

担当課評価	B	○名刺配布後の動向の把握が困難であり、成果を得るまでには時間がかかる。事業を開始したばかりであるため、平成30年度の意思確認時に何人大使になるかによって事業の見直しも視野に入れるべき。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。